

越沢バットレス クライミング報告

【日付】 2017年6月8日(木)

【天気】 曇り時々晴れ

【場所】 奥多摩 越沢(こいざわ)バットレス

【メンバー】 CL 松原・樋口・山本(記)



計画の段階から天気予報がずっと悪かったため、天気が持ちこたえそうな埼玉方面の河又の岩場とギリギリまで迷ったが、第一候補の奥多摩へ向かうことにした。

船橋 5時20分出発。

松原さんいわく、バットレスキャンプ場への林道が延長されており、車でのアクセスがとても良くなっているとのこと。

川沿いに下り、やけに揺れる吊り橋を渡り、8時20分基部到着。

過去に死亡事故が何件も出ているということで緊張感が高まります。

●1本目《第2スラブルート 3P/IV級+》



1P目：CLリード。下から見ていると簡単そうなのに、いざ登ってみると手がかりが意外と少な

い。間隔をあけて樋口さんとフォローで登っていく。

2P目：ほぼ垂直のクラック沿いに進んでいく。下から見ているととてもこわい。幸い岩が乾いていて登りやすくてよかった。徐々に高度感が増してくる。

終了点は30cmほどの足場。高度感でぞくぞくする。



3P目：核心のスラブ。右側が切れ落ちている。左コーナー側には手がかりが豊富。フォローであれば気楽だが、いざリードをするとなれば足が震えそうだ。ハヤブサの巣が途中にあり、大量のフンで岩が汚れていたが、気にする余裕はなかった。



3P目終了点。なごやかなムードです。

さて、2回に分けて懸垂下降し、地上へ。11時、軽く昼食をとる。

● 2本目 《右ルート 3P/IV+》

1P目：樋口さんリードでスタート。ロープの流れに注意する。ロープいっぱい使用する長いルート。フォローであれば登り易いルート。

2P目：CLリード。徐々にホールドが細くなり、手汗で滑る



3P目：CLリード。核心の<右の滑り台>つつるつつるして足での踏み込みに躊躇するが、やはりフォローなので気楽・・・リードをしてこそ本当の達成感が得られるのだな、と思った。今後はこわがらずにチャレンジしたい。

●お宮のハングでアブミ練習



ここでCLがアブミ練習をするとのことで、無謀にも私も体験させてもらう。

CLも樋口さんも初めてというが、とても様になっていて格好良く登っていく。



私、山本は四苦八苦しながらヌンチャク回収をすることで精一杯だった。アブミがこんなにも大変なものだとは体験をして初めて知った。つぎはフィフィをもっと活用したい。

大汗をかいて15時半に練習を終了した。



16時、懸垂下降点にて。「たくさん遊んで楽しかったね〜！！」と、3人で和やかに談笑しながら懸垂準備をする。いつの間にか天気も好転し、気持ちの良い時間だった。

こんな楽しく、充実した時間を過ごせるなんて・・・改めてちば山に入会させていただけてよかったなあ実感した。

17時下山し帰路についた。

松原さん、樋口さん、1日お付き合いくださり楽しい時間をありがとうございました！！